

# 京都初上映 + 監督トーク

岡山発、映画自体が「揆な映画」。



立ち上がった民衆  
逃げた男

## 新しき民



THE NEW CROWD SANCHU UPRISING  
FROM THE VALLEY OF MANIWA, OKAYAMA 1726-2014



遠くの明日は  
きっとと明るい

脚本・監督  
山崎樹一郎

主演  
中垣直久(鳥の劇場)

現在と過去を「揆」でつなぎ、地域の未来を考える。

2015年11月1日(日) 15:30~18:00 (開場15:00)  
会場: キャンパスプラザ京都 5階 第一講義室  
事前申込み不要・資料代500円(定員250名)

この時代に  
一石を投じる

# 「一揆」 ikki の映画を 観て、語る。

多様な分野における学際的共同研究を志向する京都文教大学人間学研究所では、これまでも従来の知の枠組みにとらわれない公開プログラムを実施してきました。

今回は江戸時代に実際に起こった農民一揆を題材とした映画『新しき民』を上映し、また本作品の監督である山崎樹一郎さんをお招きします。地元の岡山県真庭で暮らしながら、地域住民の方々との協同作業で「一揆のように映画を作ること」をめぐるお話がうかがえます。

地域とその歴史をたどりつつ、現代に生きる人々が共に映画を創造していくありかたには、単なる創作活動の枠組みを越えた多様な可能性を見いだすことができるのではないのでしょうか。「一揆」というテーマが織りなす現代社会への問いかけを照射した本作品を通して、あらためて考えていきます。



THE NEW CROWD  
SANCHU UPRISING  
FROM THE VALLEY OF MANIWA OKAYAMA 1726-2014

いってらっしゃい  
おかえりなさい。

軌を一にする  
一揆

それは一人の犠牲者も出さず  
農民側の勝利に終わったかの  
ように思われた……

治兵衛に与えられた選択肢は「一つ。  
山中に残るか、逃げるか。」

軌を一にする  
一揆

この映画は1726年に現 岡山県真庭  
に起こった「山中一揆」をモチーフに、  
大きな渦に翻弄されながら当たりまたに  
生きようとした小作農民・治兵衛を描く。  
過去はかならず、いまにつながっている。  
だから、

何があってもお前を許す

生きていけばいいじゃないか

♪よってらっしゃい みてらっしゃい

「新しき民」  
パワフル時代劇

新しき民

2014年 / 1:15 /  
モノクロパートカラー / 117分 / 5.1ch  
脚本・監督 | 山崎樹一郎  
音楽 | 佐々木 彰子

出演 | 中垣 直久 梶原 香乃 本多 章一 佐藤 亮 川瀬 陽太 ほたる 瓜生 真之助 古内 啓子 hyslom 杉井 信和 藤久 善友  
プロデューサー | 桑原 広孝 / 黒川 愛 / 中西 佳代子 撮影 | 儀謙太 照明 | 大和 久健 俗音 | 近藤 崇生 美術 | 西村 立志 組付大道具 | 宇山 隆之 助監督 | 福嶋 賢治 メイク・結髪 | 中野 進明  
衣裳 | 石倉 元一 スチール | 内堀 義之 アニメーション | 中村 智道 踊る野良着 | 別府 由紀子 勝山 はりこ | 高本 敦基 宣伝美術 | 竹内 幸生 フィルムパートナー | オーティス株式会社  
特別協力 | 公益財団法人 福武教育文化振興財団 特別協賛 | 美作国建国1300年記念事業 真庭市実行委員会 / 株式会社井原環境保全 協賛 | 湯郷温泉 季譜の里 / 東真産業株式会社 /  
湯原温泉 八景 / 十字屋グループ / 山下木材株式会社 / 有限会社エコライフ商友 / 有限会社トラベルシロウス / 株式会社三美産業 / 山中一揆義民顕彰会 後援 | 真庭市 / 真庭市教育委員会  
製作協力 | シネマニワ 製作・配給 | 一揆の映画プロジェクト



## 山崎樹一郎 監督 プロフィール

大阪府生まれ。京都文教大学文化人類学卒業後、自主制作映画作りに携わる。2006年より岡山県真庭市に移住し、農業を営みながら映画監督としての活動を行う。前作『ひかりのおと』(2011年)は東京国際映画祭、ロッテルダム国際映画祭などで上映。

最新作『新しき民』(2014年)は、現在の真庭市がかつて江戸中期に津山藩領だった頃に起こった「山中一揆」を題材としている。制作にあたっては「一揆を起こすように映画を作り、上映する」というコンセプトのもと、岡山県を中心とした地域住民の協力を得ながらの映画づくりを試みた。これまで岡山県内を中心に各地で手作りの巡回上映が行われ、「大阪アジア映画祭」の出品を経て、今年7月にはニューヨークで開催された日本映画祭「JAPAN CUTS」に招待上映され、好評を博す。また、今後はシネ・ヌーヴォ(大阪)、元町映画館(神戸)、京都みなみ会館、豊岡劇場(兵庫)などで劇場公開が予定されている。

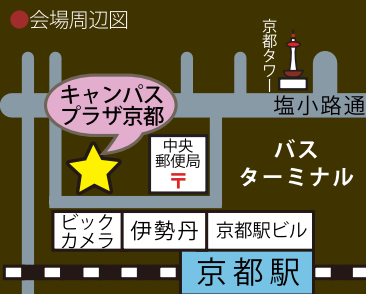


司会: 小林 康正 (京都文教大学人間学研究所 所長)

実施協力: 株式会社京都映画センター

- ★ キャンパスプラザ京都には駐車場(30分300円) および自転車・原動機付き自転車(50cc以下に限る)の駐輪場がありますが、いずれも台数に限りがございますので、お越しの際には公共交通機関をご利用ください。
- ★ 本イベント当日でのお問い合わせにはお応えできかねますのであらかじめご了承ください。会場のキャンパスプラザ京都へのお問い合わせはお控えいただきますようお願いいたします。

● お問い合わせ: 京都文教大学研究支援課(人間学研究所 担当: 立石)  
電話: 0774-25-2494(研究支援課) メール: human@po.kbu.ac.jp



● 会場周辺図  
京都市営地下鉄丸線「京都駅」、JR「京都駅」、近鉄「京都駅」下車 徒歩5分  
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る(ビックカメラ前、JR京都駅ビル駐車場西側)